

## 地域とともに、自衛隊をもっと身近に 「伊勢原観光道灌まつり」にて広報活動



自衛隊神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 兒玉憲幸 1陸尉）は、10月4日（土）、小田急線伊勢原駅周辺で開催された、戦国武将・太田道灌をたたえる伊勢原市最大の祭り「第58回伊勢原観光道灌まつり」に参加し、自衛隊の広報活動を実施した。

当日は秋晴れの下、多くの来場者で会場はにぎわいを見せた。広報ブースでは制服試着体験、ミリ飯（自衛隊非常用糧食）の紹介、自衛官の仕事や制度の説明が行われた。制服試着体験は特に好評で、小さな子どもから大人まで多くの参加者が自衛官の制服に袖を通して、「思ったより重みがある」「姿勢が自然としゃんとする」といった感想が聞かれた。実際に制服を着ることで、自衛官という職業の責任感や誇りを体感する様子も見られた。

ミリ飯の展示では、その工夫や実用性に驚く声が多く寄せられ、災害時の備えに関心を示す来場者も少なくなかった。

平塚地域事務所は「今後も地域の人々に自衛隊の活動や役割をより身近に感じてもらえるよう、あらゆる機会を通じて積極的に広報活動を展開し、地域との絆をさらに深めていく」としている。

